

ネット 新世紀 ヨーロッパ

vol.3 Internet New Century Europe

現代の未来都市 アムステルダム

アムステルダム ①
Amsterdam

岡田 智博
Tomohiro Okada

Jump coolstates.com

オーストリアで毎年9月に開催されるもっとも歴史のある電子芸術祭「アルスエレクトロニカ」の今年のテーマロゴに、私がコンセプトメーキングをし、金子ナンベイさんが書き下ろしたイラストが採用されました。「グローバルゼーションとこれからのアートの行く末に焦点をあてる今年にふさわしい構図なので使わせてもらいます」とのこと。事務局側の修正はありますが、その意図は祭典のページにて。

Jump www.aec.at/takeover/

日常の中から生まれる未来

「現在、51パーセントの市民が日常的にインターネットを使い、2003年には75パーセントの市民が使うことになるだろう」と語るのは、アムステルダム市情報化推進機構シニアアドバイザーのドリック・ヴァン・ダー・ウォンデ。アムステルダムはもはやほとんどの家庭に1人はインターネットを使いこなす人がいる街なのである。しかしそれは、ビジネスの成長や政策支援といった形によるものから「与えられた」のではなく、街に住む人々が自然に広げて活用法を見出した結果によるものだった。インターネットメディアを使った地域社会の姿を市民たちの力でいち早く生み出すアムステルダムは、まさに未来の社会を形にする街と言えるだろう。

ハッカーがISPを起業する街

「アムステルダムはユニークだといわれど、インターネットが根付くまでの間はオリジナルなものは何1つない」

この街にインターネットを広めた功労者の1人であるロップ・ゴングリップはつぶやいた。ゴングリップはコンピュータの活用とそのネットワークの魅力を生かすため、1989年から20代前半の若さで巨大クラブを舞台に毎回千人もの人々が集まるハッカーミーティングを開催していた。同時に「ハックティック」というハッキングカルチャー誌を発行していた。その後、1993年よりインターネットを多くの人に提供するための運動を開始し、オランダで初めてのISPであるXS4ALL（アクセスフォーオール）を当初から月額1,500円未満という超低価格で実現する。そしてそれをオランダを代表するISPへと育て上げ、最後には

国内最大手の通信事業者であるKPNにバイアウトした立志伝中の人物である。

「15歳のころからコンピュータに触り始め、自然と通信をし始めて、その縁で知った『ケイオスクラブ』（ドイツにある老舗のハッカークラブ）と交流したんだ。そこで行われていたハッカーミーティングがおもしろそう感じたので、アムステルダムでも始めたのがハッカーミーティングの始まり」と振り返る。「XS4ALLにしても、英国でデーモンというISPが先に始まったということを知って実現したもの」と、自然な成り行きのみならずヨーロッパ各地のシーンを吸収して形にできた経緯を説明する。

メディアが生活に溶け込む

新しいメディアがやってきたとき、アムステルダムではこの街に住む人々自身が常にその活用法を編み出してきた。たとえばテレビがオランダで始まった時、そのチャンネルは、10万人以上の会員を持つ放送のための非営利団体に放送時間単位で割り当てられていた。

こういう話もある。1970年代のアムステルダムには、勝手にラジオを放送するどころか、当時サービスが始まったケーブルテレビの回線を勝手に使う海賊放送局が存在していた。この海賊放送局はアムステルダム市民から見逃せないほどの支持を集め、政府は取締りを迫られるようになった。このとき政府が示した選択は、非営利法人となって正規の放送局になるか、それとも放送を止めさせるために検挙するかというものだった。結果的にこの放送局は1984年に法人化を選択し、ビデオを持ち込めば誰もが放送できるチャンネル「サルト」になっている。しかも、オランダのケーブルテレビ

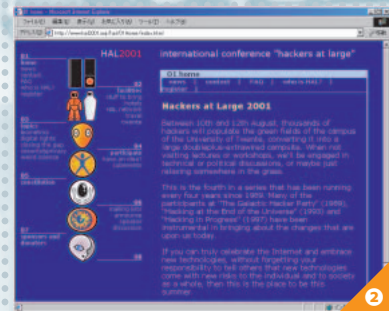
は90パーセント以上の普及率を誇っているのだ。

誰もが放送できるチャンネルの発想は、法人として再出発したときに彼らが編み出したもので、制度としてのパブリックアクセスとは異なる。このため常に放送内容の質の向上に努めており、ビデオを持ち込む人々に対して番組制作のノウハウを提供し、そのサポートによって番組が放送されている。

インターネットもまた、ゴングリップを含めたアーティストやジャーナリスト、メディア論者、メディアアクティビスト、ハッカーから始まっている。彼らは、インターネットという現実社会とは異なる新しいコミュニケーション手段を使ってコミュニティが生まれることを察知し、どういった形でインターネットを広げていくかを議論した。この動きのなかで自然と世界中のアイデアやノウハウが持ち込まれ、アムステルダムのインターネットは育まれていった。この気風が、当時20代初めのゴングリップたちでXS4ALLを立ち上げたことを後押ししただけでなく、ユーザーをすぐに増やせたきっかけにもなっていた。

一方、このような世界各地の二番煎じのプロジェクトだけでなく、サーバー内に仮想の都市を作り、無料でサーバースペースを貸し出すことで誰もがインターネットを使えるようにする非営利団体「デジタルシティー」を1994年に生み出すなど、世界中から注目されるオリジナルのものを次々に出すまでになった。

このようにアムステルダムでは、地域文化からインターネットの活用の形が生まれ、実行されていく土壌があたりまえのものとして存在している。今回はその土壌から生み出された今を紹介したい。



- ① XS4ALLはアムステルダムのみならず、世界規模でのサポートを行ってきた。旧ユーゴスラビアでの市民による非営利なインターネットアクセスの提供のためのテクノロジとインターネットのバックボーンを提供はその最たるもの。これはストリーミングサーバーを提供したベオグラードで生き残った独立系ラジオ局B92のページ。大手通信企業の子会社となった今でも、ハイアウト時の確約もあり、その姿勢は変わっていない。
- ② ゴングリップは現在、久しぶりに巨大な国際ハッカーイベントを企画中。8月にアムステルダム郊外の野原で行われるイベントHAL2001.ORGは要チェックだ。
- ③ 「僕はただ必要だと思ったことを実行に移してきただけ。XS4ALLのKPNへの売却も、もはや何十万人ものユーザーを抱え、たくさんのスタッフを抱えるようになった時に、誰が面倒を見れば幸せなのか、ということ考えただけのことだ」と語るゴングリップ。
- ④ サルトの送居室。誰もが映像素材を持ち込んで放送できるように、送用のビデオデッキはベータカムだけでなく、DVやVHSまである。
- ⑤ 「デジタルシティー」がインターネットを広く体験してもらうために制作したキオスク。市役所と図書館、メディア文化センターなどに設置され、誰もが無料で使うことができた。今は過去の記念として「デジタルシティー」本社の廊下に放置されている。

参考URL

- ハックティック  www.hacktic.nl
- XS4ALL  www.xs4all.nl
- HAL2001.ORG  www.hal2001.org
- サルト  www.salto.nl
- デジタルシティー  www.dds.nl



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp